

ITU-R SG 5
第19回会合報告書
(案)

2023年1月16日

日 本 代 表 団

1 会議の概要

ITU-R SG 5 は移動業務、固定業務、無線測位業務、アマチュア業務及びアマチュア衛星業務を所掌している。

第 19 回会合は、2022 年 11 月 28 日にスイス・ジュネーブにて開催され（Web で
の参加も可）、51 か国の主管庁及びその他関連機関から 258 名が参加した。日本代
表団としては表 1 に示す 22 名が出席した。

議長は M. FENTON 氏（英国）であり、副議長は以下の 20 名である。

M. ABDELGHANY 氏（エジプト）、S. AL-BALOOSHI 氏（UAE）、R. ALAKBARLI 氏（アゼル
バイジャン）、Y. ALSHOUDOKHI 氏（サウジアラビア）、J. ANDRÉ 氏（フランス）、新
博行氏（日本）、A. S. GALINCIUC 氏（ルーマニア）、A. DARVISHI 氏（イラン）、
O. JAMMELI 氏（チュニジア）、A. LATRACHE 氏（モロッコ）、H. MAZAR 氏（ATDI）、
M. OMER 氏（スーダン）、A. PANDEY 氏（インド）、B. PATTEN 氏（米国）、J. P. R. LOPEZ
氏（メキシコ）、S. SHAVGULIDZE 氏（ジョージア）、A. SHURAKHOV 氏（ロシア）、
J. Y. SONG 氏（韓国）、B. Z. TAH 氏（コートジボワール）、Y. WAN 氏（中国）

今回の会合においては、36 件の入力文書について審議を行った。

勧告案については、表 2 に示すとおり、6 件が郵便による採択・承認同時手続
に、1 件が会合で採択され郵便による承認手続にそれぞれ付すことが合意された。

また、報告案については、表 3 に示すとおり、6 件が承認された。

入力文書一覧は巻末の表 4、勧告・研究課題文書の承認プロセスについては、巻
末の図 1 のとおりである。

表1 SG 5会合出席者一覧

氏名	所属
吉積 義隆	総務省 総合通信基盤局 電波部 移動通信課 新世代移動通信システム推進室
重成 知弥	総務省 総合通信基盤局 電波部 移動通信課 新世代移動通信システム推進室
杉山 敬亮	総務省 総合通信基盤局 電波部 移動通信課 新世代移動通信システム推進室
青野 海豊	総務省 総合通信基盤局 電波部 基幹・衛星移動通信課
塚田 大貴	総務省 総合通信基盤局 電波部 基幹・衛星移動通信課
石黒 真人	総務省 総合通信基盤局 電波部 基幹・衛星移動通信課 基幹通信室
星 祐翔	総務省 総合通信基盤局 電波部 基幹・衛星移動通信課 基幹通信室
新 博行	株式会社 NTT ドコモ
小川 博世	国立研究開発法人 情報通信研究機構
小山 敏	国立研究開発法人 情報通信研究機構
吉野 仁	ソフトバンク株式会社
中村 一城	公益財団法人 鉄道総合技術研究所
加藤 康博	一般社団法人 電波産業会
佐藤 拓也	一般社団法人 電波産業会
横山 隆裕	一般社団法人 電波産業会
大槻 信也	日本電信電話株式会社
伊藤 信幸	日本無線株式会社
宮寺 好男	日本無線株式会社
北原 貴子	株式会社三菱総合研究所
市橋 洋基	株式会社三菱総合研究所
片山 麻衣子	ワシントンコア L.L.C.
地引 史子	ワシントンコア L.L.C.

表 2 SG 5 会合での勧告の採択状況

	採択		郵便による採択・承認の同時手続		通常の郵便による採択手続		決議第 1-8 A2.6.2.5 に基づく編集上の修正が承認された勧告	通常の勧告廃止承認手続	解決を求めため RA-23 で審議		WP への差戻し	
	新	改訂	新	改訂	新	改訂			廃止	新	改訂	新
WP 5A	0	0	0	1	0	0	0	1	0	0	0	0
WP 5B	0	1	0	4	0	0	0	0	0	0	2	0
WP 5C	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0
WP 5D	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	0	1	0	6	0	0	0	1	0	0	2	0
	1		6		0				0		2	

表 3 SG 5 会合での研究課題の採択、報告の承認状況

	採択された研究課題案				承認された報告案		
	新	改訂	削除	WP へ差戻し	新	改訂	削除
WP 5A	0	0	0	0	1	1	0
WP 5B	0	0	0	0	1	0	0
WP 5C	0	0	0	0	0	0	0
WP 5D	0	0	0	0	3	0	0
合計	0	0	0	0	5	1	0
	0				6		

2 審議の内容

2.1 オープニング関連

議長より、今研究会期において今回初めて対面で SG5 会合を開催できたことへの喜び、及びこの対面での開催の機会に議場に直接来場した出席者をはじめ、参加者各位への歓迎の言葉が述べられた。

SG 5 会合のラポータについて、Robert Cooper 氏（英国）が務めることとなった。

前回の SG 5 会合の Summary record について、特段の質疑・意見なく承認された。

2.2 WP 5A（IMT を除く陸上移動業務等）関連

(1) 概要報告

WP 5A 議長から、2022 年に開催された 2 回の WP5A 会合についての報告（5/105）が説明された。また、WRC-23 議題 9.1.c) を扱う AdHoc グループは作業を完了したため解消し、WP 5A 内で ITU-R 研究課題 215 に基づく作業を継続することとなったため、次回 WP 5A 会合から同グループの構成に変更があることが報告された。

(2) 勧告

- 5/101 Draft revision of Recommendation ITU-R M.1732-2

「共用検討で使用するアマチュア及びアマチュア衛星業務で運用するシステムの特性」の改訂案であり、知的財産権の問題はない。

ロシアから、recommends にアマチュア及びアマチュア衛星業務の局の保護基準として追加された I/N -6dB について、干渉時間率の定義がなければ合意できないという異議が提出された。議論の結果、同記述を含む新しい recommends は削除し、Annex においては、共用検討におけるアマチュア局及びアマチュア衛星局の保護基準として I/N -6dB を「用いるべき」という表現を「検討すべき」と修正することとなった。以上の編集を行い、PSAA を適用することで合意した。

- 5/105 Suppression of Recommendation ITU-R M.1307 (1997)

20 年以上前に策定した勧告（陸上移動業務における位置自動判定・誘導）であり、検討の結果、更新するよりも削除を提案すべきという結論に至ったことが WP 5A 議長により説明された。米国及び日本からも、記載されているシステムは既に使用されておらず、更新は難しいと判断した経緯の説明があり、本勧告は削除することで合意した。

一方で、イラン及びロシアから、最近の技術に基づき、本勧告に含まれる情報に代わる内容を提供するための入力文書を各主管庁から募るべきである

との意見が提出され、SG 5 議長がその旨を本会合のサマリーレコードに記録することに同意した。

(3) 報告

- 5/80 Draft revision of Report ITU-R M. 2417-0

特に質疑・意見なく、承認された。

- 5/102 Draft new Report ITU-R M. [252-296 GHZ, LMS, FS, COEXIST

英国から、本報告案の承認に異議はないが、当該周波数帯に関してはごく初期の段階にあり、状況が変わり得る旨、WP 5C でも ITU-R 報告 F. 2416 の改訂作業が継続中であることについて注意を促す発言があった。

2.3 WP 5B (海上移動業務、航空移動業務及び無線測位業務) 関連

(1) 概要報告

WP 5B 議長から WP 5B の活動状況について報告がなされた。WRC 各議題の報告文書が多数策定されていることに関連して、これら文書策定作業が参加者に過大な負荷を与えているのではないかと疑問視する声が挙げられていることも併せて報告された。また、WP 5B 議長（英）及び WG5B-1 議長（独）が本研究会期をもって議長職を引退するが、議長候補が足りない旨、現在も複数の議長が複数の議題を掛け持ちしているような状況である旨が述べられた。その上で、議長への立候補は歓迎である旨も述べられた。

(2) 勧告

- 5/107 ITU-R改訂勧告案M. 2135-0

「156-162.05 MHz 周波数帯で運用する自律型海上無線機器の技術・運用特性」について、WP 5B 議長より文書の概要が報告された。

議長より、IPR (Intellectual Property Right) に関する懸念事項がないことが確認され、本勧告案は PSAA (Procedure for simultaneous adoption and approval) に付すことが合意された。

- 5/108 ITU-R改訂勧告案M. 2058-0

「海上 HF 周波数帯で陸上から船舶へ海上安全及び保安関連情報を放送するための、航海データと称するデジタルシステムの特性」について、WP 5B 議長より文書の概要が報告された。

議長より、IPR に関する懸念事項がないことが確認され、本勧告案は PSAA に付すことが合意された。

- 5/104 ITU-R改訂勧告案M. 2010-1

「500 kHz 帯で陸上から船舶へ海上安全及び保安関連情報を放送するため

の、航海データと称するデジタルシステムの特性」について、WP 5B 議長より文書の概要が報告された。

本勧告案について、recommends の5,6 及びエディトリアルな修正がなされた。そのほか IPR に関する懸念事項がないことが確認され、本勧告案は PSAA に付すことが合意された。

- 5/98 ITU-R改訂勧告案M. 1849-2

「地上ベース気象レーダーの技術及び運用的側面」について、WP 5B 議長より文書の概要が報告された。

議長より、IPR に関する懸念事項がないことが確認され、本勧告案は PSAA に付すことが合意された。

- 5/99 新ITU-R勧告案M. [RAD 92-100GHz]

「92-100GHz 帯における滑走路異物検知用レーダーシステム等の特性」について、WP 5B 議長より文書の概要が報告された。

本勧告案について、いくつかの変更案が議論されたが合意には至らなかった。議論の中で示された変更案を含む編集版を送付するとともに、さらなる検討のため WP 5B に送り返すこととなった。

また、会議報告書には、「作業部会の議長は、勧告及び関連附属文書の文章を慎重に検討し、特定の行政機関の特定の規格に言及することを避けることが要請される。」と記すことが合意された。

- 5/89 新ITU-R勧告案M. [AMS CHARACTERISTICS_1780-1850 MHz]

「1,780-1,850MHz の航空移動通信サービスで動作するシステムの技術特性及び保護基準」について、WP 5B 議長より文書の概要が報告された。

上記の勧告案のうち、特に保護基準について、変更案が議論されたが合意には至らなかった。さらなる検討のため WP 5B に送り返すこととなった。

- 5/87 ITU-R改訂勧告案M. 1730-1

「15.4-17.3GHz における無線標定業務の特性及び保護基準」について WP 5B 議長より文書の概要が報告された。

本勧告案について、recommends 1,2 を修正した後、議長より IPR に関する懸念事項がないことが確認され、採択された。本勧告案については、文通による承認手続に付されることとなった。

(3) 報告

- 5/88 ITU-R新報告案M. [LED-EMI]

「発光ダイオード照明システム及びその他の意図しない発生源による電磁干渉から、船舶に搭載された無線受信機を保護するための条件」について、WP 5B 議長

より文書の概要が報告された。

本報告案について、タイトル及び Keywords について修正がされた後、承認された。

2.4 WP 5C（固定業務及び短波帯の固定・陸上移動業務）関連

(1) 概要報告

WP 5C 議長より、前回 SG 5 会合以降 2 回の会合を開催し、今回会合では 1 件の勧告改訂案を上程している旨が報告された。

又、特記事項として、以下の内容が報告された。特段の質疑はなく了承された。

- WP 5C が WP 5A と共同責任グループとなっている WRC-19 議題 9.1.c について、WP 5C が所掌する固定業務の観点からはすべての作業が終了したこと。
- WP 5C が責任グループとなっている ITU-R 決議第 59（地上波電子ニュース収集（ENG）システムによる世界的及び／又は地域的な調和のための周波数帯の可用性とその条件に関する研究）に関し、WP 5A、WP 5D、WP 6A において、これまで WP 5C で作成中だった新報告に含まれていた情報の内、各 WP が担務範囲と判断した内容を含む新報告の作成作業を開始したこと、またこれに伴い、固定業務に属する内容がほとんどないことが明らかになったことから、WP 5C としては作成中の新報告草案に向けた作業文書の策定作業は中止し、他 WP での作業の結果を待つことになったこと。

(2) 勧告

- 5/109 Draft Revision of Recommendation ITU-R F.1520-3

WP 5C 議長から勧告の改訂経緯及び構成が説明された。また、本勧告は今研究会期に進められた一連のチャンネルアレンジメントに関する勧告改正作業の最後の一つであること、最大チャンネル幅がこれまでの 112MHz から 224MHz と 2 倍になったこと、およびそれに伴う各セクションの修正箇所が説明された。Recommends 5 における「主管庁はできる限りセンターギャップの使用を避ける」旨の記載について、ロシアから避けるべき用途・システムはすべての業務か、あるいは固定業務のみであるかの確認がなされたところ、明確化のために固定業務であることを示す追加（" by the Fixed Service" を追記すること）が SG 5 議長から提案され、合意された。

最後に、知的財産権に関する問題がないことが確認され、提案通り PSAA による承認手続きを行うことで合意した。

2.5 WP 5D (IMT) 関連

(1) 概要報告

WP 5D 議長より、審議の概要及び今会合では、3件の新報告案を上程している旨が報告された。

今年開催された3回のWP 5D会合は、リモート参加も可能としつつ物理会合として開催され、多くの参加者を得たことが報告された。

また、CPMの準備を完了したこと、残課題としてITU-R勧告M.1036の改訂及びRR21.5のBR局長ノート作成について進捗が求められていること、今後の主な活動として、ITU-R勧告M.2150及びM2012の改訂作業、IMT-2030ビジョン勧告の完成を予定していること等、が報告された。

ATDIより、リモート参加を可能とすることによって全WP合わせて1000人以上が参加できており、移動の削減等でも非常に有意義として、今後も継続すべきとの意見が出された。また、WP 5Dでは、リモートカバレッジの新報告を完成しているとして、発展途上国に対する貢献の重要性についてコメントがなされた。

イランより、リモート参加は要望があれば検討すべきとのコメントがなされた。加えて、RR21.5については技術的な解決方法がないとの懸念が出され、WRCでの議論になるとの見込みや、議題1.1については、5B及び5Dと上手く協業ができているが、今後ITU-R勧告2116の改訂が必要であり、政治的な側面を持ち込まないことが重要であるとの見解が示された。

(2) 報告

- 5/77R1 Draft new Report ITU-R M. [IMT.C-V2X]

WP 5D議長より、報告の作成経緯及び構成が説明された。

特段の質疑・意見なく、本報告が承認された。

- 5/85 Draft new Report ITU-R M. [IMT.FUTURE TECHNOLOGY TRENDS OF TERRESTRIAL IMT SYSTEMS TOWARDS 2030 AND BEYOND]

WP 5D議長よりスコープの説明後、冒頭の注意書きの経緯として、1つの国の指摘によるもので、他から多くの支持が表明されていることが補足された。

これに対してイランより、原則としてコンセンサスがなければ承認できないとした。また、経緯としては、WG議長がイランの意見を無視し、日中韓が承認を進めたとの指摘がなされ、完成を急ぐ理由がないとして承認への圧力をかけられることへの不満が表明された。他方で、議長報告にてSG5議長がWPにてコンセンサスを取る必要性を明確化することを条件に注意書きを削除することで合意した。

ATDIからは、関連文書として決議59を追記することを求め、WP 5D議長からは関連性があれば問題ないとして反映された。

以上の審議をもって、本報告は承認された。

- 5/95 Draft new Report ITU-R M. [IMT TERRESTRIAL BROADBAND REMOTE COVERAGE]

WP 5D 議長より、報告の作成経緯及び構成が説明された。

特段の質疑・意見なく、本報告が承認された。

2.6 その他全体に関わる事項

- (1) ITU-R SG 6 放送の未来のビジョンに関するラポータグループ (RG-FOB) からのリエゾン文書 (5/78)

同グループの作業の進捗を知らせるリエゾン文書であり、情報として了知された。

- (2) ITU-R 勧告 V. 431-8 の改訂 (5/84、90、96、100)

ITU-R 勧告 V. 431-8 の改訂及び無線通信規則への“THF”の追加について意見を求める CCT から SG、WP へのリエゾン文書 (5/84)、ITU-R 勧告 V. 431-8 における SI との不一致を指摘する SG 7 から CCT への返答リエゾン文書 (5/90)、ATDI からの関連提案 (5/96、100) を情報として了知した。

- (3) ITU-T からのリエゾン文書

- ・試験機関認定手続きについて (5/86、94)

ITU-T の試験機関認定手続きの適用を ITU-R 勧告にも拡大する可能性を検討することを提案する ITU-T SG 11 からのリエゾン文書 (5/86) と、同リエゾン文書に対して WP 5D から提出された返答リエゾン文書案 (5/94) を検討した。議論の結果、ITU-T が提案している内容は SG 5 の所掌でも ITU-R の所掌でもなく、SG 5 としての対処は必要ないとして、リエゾン文書は了知し、返答は発出しないことで合意した。

- ・以下のリエゾン文書は情報として了知した。

文書番号 (5/)	提出元	概要
91、92	ITU-T SG 15	Access Network Transport (ANT) 及び Home Network Transport (HNT) の標準化活動に関する情報提供。
76	ITU-T TSAG	ITU-T 内にデジタル・コロナ証明書に関する JCA ¹ を設置したことの通知。
79、82	ITU-T (FG-TBFxG)	テストベッドに関するフォーカスグループ (FG) の活動の連絡、ユースケース提供の要請等。
83、93	ITU-T (FG-AI4A)	デジタル農業のための AI 及び IoT に関する FG の活動の連絡、デジタル農業に関する情報

¹ Joint Coordination Activity

		提供の要請等。
81	ITU-T SG 17	ITU-T でセキュリティを扱う SG 17 から、セキュリティ関係の担当者や文書に関する更新情報を求める内容。

2.7 クロージング関連

特段なし

3 今後の予定

	日付	会合	開催地
	2023年1月31日 2月9日	WP 5D	ジュネーブ
	2023年5月9日 5月18日	WP 5A	未定
	2023年5月9日 5月16日	WP 5C	未定
	2023年6月13日 6月22日	WP 5D	[ジュネーブ]
	2023年7月10日 7月21日	WP 5B	[ジュネーブ]
	2023年9月12日 9月21日	WP 5A	[ジュネーブ]
	2023年9月25日 9月26日	SG 5	[ジュネーブ]
	2023年11月13日 11月17日	RA-23	ドバイ
	2023年11月20日 12月15日	WRC-23	ドバイ
	2023年12月18日 12月20日	CPM27-1	ドバイ

2023年9月の日程を変更する提案（WP 5Aの翌週でなく終了週にSG 5を開催）があったが、WRC地域間ワークショップとの兼ね合いもあるため、当面の間上記の仮日程のままとしておき、調整を継続することとなった。

2023年5月のWP 5A及びWP 5Cの開催地については、ジュネーブ以外のホスト国の打診があったがまだ最終的な決定に至っておらず、正式な連絡は今後回章にて行う旨がSG 5カウンセラーから説明された。

表 4 SG 5 入力文書一覧

文書 番号	提出元	タイトル
111	Director, BR	Final list of participants – Study Group 5 (Geneva, 28 November 2022)
110	BR, Study Groups Department	List of documents issued (Documents 5/75 – 5/110)
109 (Rev. 1)	WP 5C	Draft revision of Recommendation ITU-R F.1520-3 – Radio-frequency arrangements for systems in the fixed service operating in the band 31.8–33.4 GHz
108 (Rev. 1)	WP 5B	Draft revision of Recommendation ITU-R M.2058-0 – Characteristics of a digital system, named navigational data for broadcasting maritime safety and security related information from shore-to-ship in the maritime HF frequency band
107	WP 5B	Draft revision of Recommendation ITU-R M.2135-0 – Technical characteristics of autonomous maritime radio devices operating in the frequency band 156–162.05 MHz
106	Chairman, WP 5B	Executive Report of the twenty-eighth, twenty-ninth and thirtieth meetings of Working Party 5B
105	Chairman, WP 5A	Executive Report of the twenty-seventh and twenty-eighth meetings of Working Party 5A – Land mobile service above 30 MHz (excluding IMT); wireless access in the fixed service; amateur and amateur-satellite services
104 (Rev. 1)	WP 5B	Draft revision of Recommendation ITU-R M.2010-1 – Characteristics of a digital system, named Navigational Data for broadcasting maritime safety and security related information from shore-to-ship in the 500 kHz band
103 (Rev. 1)	Chairman, WP 5C	Executive Report from Working Party 5C
102	WP 5A	Draft new Report ITU-R M. [252–296 GHz. LMS. FS. COEXIST] – Coexistence between land-mobile and fixed service applications operating in the frequency range 252–296 GHz
101 (Rev. 1)	WP 5A	Draft revision of Recommendation ITU-R M.1732-2 – Characteristics of systems operating in the amateur and amateur-satellite services for use in sharing studies
100	ATDI	Revising Recommendation ITU-R V.431-8 – Nomenclature: Number 12, THF 300 to 3 000 GHz, Terametric waves

文書 番号	提出元	タイトル
99	WP 5B	Draft new Recommendation ITU-R M. [RAD 92-100 GHz] - Technical and operational characteristics of radiolocation systems operating in the frequency range 92-100 GHz and radionavigation systems operating in the frequency range 95-100 GHz
98 (Rev. 1)	WP 5B	Draft revision of Recommendation ITU-R M. 1849-2 - Technical and operational aspects of ground-based meteorological radars
97	Chairman, WP 5D	Executive Report from Working Party 5D
96	ATDI	Adding symbol to the ninth ITU Radio Regulations band and revising Recommendation ITU-R V. 431-8 - Nomenclature: Number 12, THF 300 to 3 000 GHz, Decimillimetric waves
95	WP 5D	Draft new Report ITU-R M. [IMT TERRESTRIAL BROADBAND REMOTE COVERAGE] - Terrestrial IMT for remote sparsely populated areas providing high data rate coverage
94	WP 5D	Note to ITU-R Study Group 5 (copy to Working Parties 5A and 5C) - Proposed reply liaison statement to ITU-T Study Group 11
93	FG-A14A	Liaison statement on invitation to provide inputs to the roadmap of AI and IoT activities for digital agriculture
92	ITU-T SG 15	Liaison statement on the new version of the Home Network Transport (HNT) standards overview and work plan
91	ITU-T SG 15	Liaison statement on the new version of the Access Network Transport (ANT) standards overview and work plan
90	SG 7	Reply liaison statement to Coordination Committee for Terminology (CCT) (copy to Study Groups 1, 3, 4, 5 and 6) - Symbols in Recommendation ITU-R V. 431-8 inconsistent with the definitions of the SI units and adding a new symbol to the Radio Regulations
89	WP 5B	Draft new Recommendation ITU-R M. [AMS CHARACTERISTICS_1 780-1 850 MHz] - Technical characteristics and protection criteria for systems operating in the aeronautical mobile service within the frequency range 1 780-1 850 MHz
88 (Rev. 1)	WP 5B	Draft new Report ITU-R M. [LED-EMI] - Protection of radio receivers installed onboard vessels against electromagnetic interference from light emitting diode lighting systems and other interfering sources

文書 番号	提出元	タイトル
87 (Rev. 1)	WP 5B	Draft revision of Recommendation ITU-R M. 1730-1 – Characteristics of and protection criteria for the radiolocation service in the frequency band 15.4–17.3 GHz
86	ITU-T SG 11	Liaison statement on ITU testing laboratories recognition procedure
85 (Rev. 1)	WP 5D	Draft new Report ITU-R M. [IMT.FUTURE TECHNOLOGY TRENDS OF TERRESTRIAL IMT SYSTEMS TOWARDS 2030 AND BEYOND] – Future Technology Trends of Terrestrial IMT Systems towards 2030 and beyond
84	CCT	Liaison statement to ITU-R Study Groups – Symbols in Recommendation ITU-R V.431-8 inconsistent with the definitions of the SI units and adding a new symbol to the Radio Regulations
83	ITU-T (FG-AI4A)	Reply liaison statement on current activities of FG-AI44
82	ITU-T (FG-TBFxG)	Liaison statement on call for use cases on testbeds federation
81	ITU-T SG 17	Liaison statement on request to update security contacts and to provide information on security related Recommendations or other texts under development
80	WP 5A	Draft revision of Report ITU-R M.2417-0 – Technical and operational characteristics of land-mobile service applications in the frequency range 275–450 GHz
79	ITU-T (FG-TBFxG)	Liaison statement on the outcomes of the first meeting of the ITU-T Focus Group on Testbed Federations for IMT-2020 and beyond (FG-TBFXG)
78	SG 6	Liaison statement to all ITU-R Study Groups – Information on the progress of ITU-R Study Group 6 Rapporteur Group on a vision for the Future of Broadcasting (RG-FOB)
77 (Rev. 1)	WP 5D	Draft new Report ITU-R M. [IMT.C-V2X] – The use of the terrestrial component of IMT for the Cellular-Vehicle-to-Everything
76	ITU-T TSAG	Liaison statement on the establishment of JCA on digital Covid-19 Certificates (JCA-DCC)
75	Chairman, SG 5	Summary record of the eighteenth meeting of Study Group 5 (e-Meeting, 16 December 2021)

図1 勧告・研究課題文書の承認プロセス

